



# 神奈川の風



平成27年12月7日号

校長 吉江 明洋

## < 進路面談 >

3年生は1日に最終の評価・評定が示され、4日(金)から進路選択のための最終面談が始まりました。

この面談は、あなたが過ごしてきた3年間の成果を基に、義務教育終了後の自分の姿を模索し、どの進路を選んでいくかを決定するものです。



振り返れば誰にでも後悔はありますが、今は、やり直しがきかない過去にこだわらず、前向きに積極的に将来を見つめましょう。

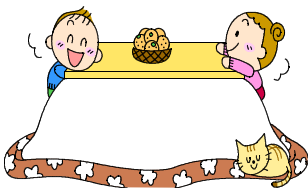
しかし、どのような進路を選択しても、それで終わりではなく、進む方向が見えただけで、合格を勝ち取るまでは最大限の努力をしなければなりません。結局は、あなたのこれからの行動や気持ちしだいで、この先の人生はどうにでも変わっていきます。

社会に出てから求められるものは、職種によっても異なりますが、全てに共通することは、学生時代に点数では表せなかった、当たり前前ひとがらのことをあたりまえにできる誠実さや責任感、そして、明るく協調性があるなどの人柄の良さや意欲などが重要な評価基準となります。

(だから勉強しなくて良い…ではありませんのでお間違えなく。社会に出てからも、学力や知識はとても大切なものです)。

ですから、目標が定まり、集中して勉強をしていくことは当然ですが、まだまだ学校生活・社会生活は続きます。人として大切なものを身につけていくことも忘れずに、これからも頑張のぞってほしいと願っています。現在の自分と現実を見つめ直し進路面談に臨みましょう。先生方は全員で君達を応援しています。

## < 師走 7日は二十四節気の大雪 >



12月を意味する「師走」の由来は諸説ありますが、年末に祖先の霊を弔うお経をあげるため、普段は走らない師匠の僧も、あちこちの家々を走り回る「師馳せ月」(しはせづき)からというのが一般的な説となっています。

この説は、平安末期の文献「色葉字類抄」に「しはす」の注釈として説明されており、この説を元に「師走」の字が当てられたと考えられています。

また、今日12月7日(月)は二十四節気の一つ「大雪」。大雪とは、冬型の気圧配置が強まり、雪が大いに降り積もる頃という意味です。

山の峰は雪に覆われ、本格的な冬の寒さが日ごとに加わり、全国的に冬一色になる季節です。熊が冬眠に入るのもこの頃。鱒など冬の魚の漁も盛んになります。学校からも、晴れた日には雪に覆われた真っ白い富士山が見える日が多くなっています。



きれいな